

# 北口和皇議員、公の業務の執行を妨げる不当な要求を強要

5月12日、「北口和皇議員の不当要求行為等に関する調査特別委員会」が開かれ、不当な行為の実態が明らかに

## 交通指導員委嘱、北口議員の同意が得られず2年間空白に

「自分がなりたい」から同意しない

「自分がなりたい」という要求を実現するために、年齢のことや「自治会長・校区交通安全協会支部長、いずれか一方の同意でよいというのはおかしい」などと自分の主張を押し通し、同意しない。

2年間もの空白に全く反省なし

交通指導員は、地域の交通安全等を確保するための大切な仕事です。北口議員が同意しなかったために、2年間も空白に。その意味を認識し、長年議員という公職にあった者として大いに反省すべきです。

## 市役所業務を妨害する不当な行為が長年にわたり日常化

自宅や事務所、病院などに呼びつけ  
長時間職員を拘束・叱責

・「陳情書の扱いについて」の説明のため、議会事務局職員を休日、自宅に呼び、4時間も説明をさせる  
・入院中のため、病室に職員を呼び、午前午後合わせ5時間30分も資料の説明をさせる  
など、職員を庁舎外へ呼びつけ、2時間30分～4時間も職員を拘束し、説明をさせています。

熊本地震の対応に追われる中、  
地震と関係ない資料を膨大に要求

地震発災直後（2016年6～7月）に、地震と全く関係ない資料を執行部に要求。地震の対応に追われる中、業務に支障が出たため、「不当要求等対策会議」から「資料の提出をしない決定」が北口議員に出されました。  
同じ内容の資料を違う局に要望  
執行部の多忙化に拍車をかけ、市役所業務を混乱させるものです。

## 委嘱の条件がありながら、委嘱しなかった市の姿勢も問われます

北口議員の主張は現行制度では、それにとらわれる必要のないものであったにもかかわらず、市は、議員

に配慮をして委嘱しませんでした。北口議員に対する「特別な配慮」をしてきた市の姿勢も問われます。

## 権限のない熊本市に、診療所の増床を執拗に要望

病院・診療所の病床数を決める権限は「県」にあることを知りながら、市の地域医療課に、執拗に診療所の増床について、県へ働きかけることを求めました。


この場合も、常套手段として、長

時間にわたり職員を拘束（1～2時間）し、大声で叱責するなどしています。うち数回は、北口議員の事務所やJA熊本へ呼びつけるなどしています。このように、権力を笠に着たようなやり方は許されません。

【控室から】  
地元小学校の60周年を祝つ  
上野 みえこ

地元の帯山小学校が60周年を迎え、記念の祝賀会が開かれました。集った方々のお祝いの言葉を嬉しくお聞きしました。初代卒業生の方の懐かしいお話は、印象的でした。夫も帯山小学校の卒業です。当時は、今に比べクラスもずいぶん多かったとのこと。子どもたちのために、PTAで扇風機をつけたお話もありましたが、今年度はいよいよエアコンがつけられます。子どもたちや保護者の方々の願いがかなって、教育環境の整備が一步一歩すすんできましたことをたいへんうれしく思います。

共産党市議団は、教育現場の問題として、エアコン設置はもちろん、老朽校舎やトイレ・体育館・プールの改修、養護教員の増員、学校図書室の増書・図書司書配置、バリアフリー化など、様々な要望を議会で取り上げ、実現に向けて頑張ってきました。帯山小学校の体育館は、小学校の中では一番古くなりました。建替えも、ぜひ実現したいものです。引き続き、子どもたちの笑顔あふれる学校現場となるように力を尽くしたいと思います。




日本共産党 市議会だより  
発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか やまべひろし

NO. 1047  
2017年5月21日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

✉: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホームページ：共産党熊本市議団 検索

oooooooooooo 1 - 1oooo



## 立野ダム建設一市長は国に説明責任をしっかりと求めるべき！

5月12日、「立野ダムによらない自然と生活を守る会」はじめ「県議の会」「市議の会」3団体は、5月にひらかれる、「白川改修・立野ダム建設促進期成会（熊本市など、白川流域4市町村で構成）総会」の傍聴を求めること、などの要請書を市に提出しました。要請には、共産党市議団、山本のびひろ県議が参加しました。

### 国交省、「期成会からの要望」を口実に立野ダム推進

5年前の、九州北部豪雨災害以降、白川の河川改修は進みました。その結果、現在では、立野ダムの洪水調節能力を大幅に上回る治水効果を得ています。

しかしそれでも国は「期成会からの要望」を口実に立野ダム

建設を推進しています。その一方で、流域住民への説明会や公開質問状への回答をいっさい行おうとはしません。

「期成会の会長」である大西市長の態度がいま、大きく問われています。

### 住民への説明責任と、ダムではなく、河川改修・震災復興の促進を

要請書では、以下の3点を要請しました。

1. 「白川改修・立野ダム建設促進期成会」の傍聴を認めること。

2. 立野ダム事業に関する説明会を、白川流域の市町村ごとに関することを、国交省に要請すること。住民の質問については真摯に解答し、意見を十分に聞くこと。

3. 国が立野ダム事業について説明責任を果たすまでは、立野ダム建設を一時中断し、河川改修や震災復興を促進するように国に要請すること。

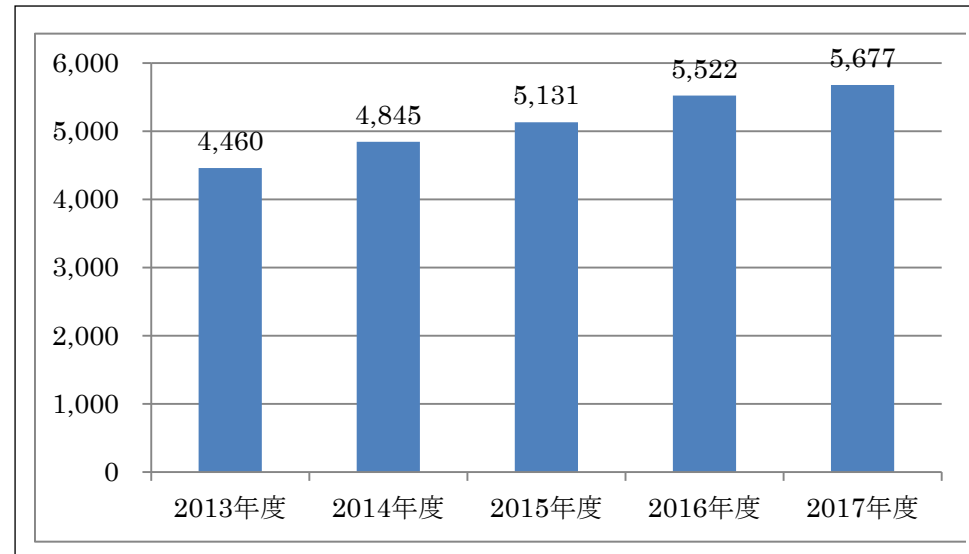


## 子どもたちが安心して過ごせる育成クラブに

### 増え続ける入会児童数

児童育成クラブに入所する児童数は、年々増え続けています。5年間で1200人以上増えて、約1.3倍です。

100人を超えているクラブの数は、5年前の5校区から、15校区へと3倍に増えました。



### 不足する指導員の確保は急務

現在、設置されている80クラブのうち、配置基準に対し指導員不足のクラブが27カ所(不足人数は36人)あります。多いところは4人も不足。

安全・安心な育成クラブにしてい くためにも、指導員の待遇改善や確保は重要な課題です。正規職員にすることが最善ですが、嘱託職員であっても、勤務時間の確保、社会保険・雇用保険の適用やすべての職員に通勤手当を支給することも必要です。

### 「育成クラブ指導員」募集中！

- ・月～金曜日 午後2～6時  
土曜・長期休暇午前8時～午後6時
- ・時給 870円
- ・応募資格 (年齢・資格は問わず)  
子どもの健全育成に熱意がある人  
健康で体力がある人
- ・希望される方は、  
教育委員会・青少年教育課へ  
お問い合わせください。

☎ 328-2277